

学校經由

令和7年度就学援助費・奨励費受給申請書兼同意書（新規・継続）

由布市教育委員会 殿

↑いずれかを○で囲む
○年 ○月 ○日

下記児童・生徒について就学援助費又は就学奨励費（以下「就学援助費等」という）の受給を受けたいので、理由を付し、必要書類を添えて申請します。なお、就学援助費等の適正な審査のため、由布市教育委員会教育長が世帯全員の市民税課税状況及び住民基本台帳の情報の閲覧、その他関係課へ必要事項の照会を行うことについて、同意します。

また、就学援助費等の請求・受領・返納に関する一切の権限を学校長へ委任し、学校給食費等に滞納がある場合は、当該就学援助費等（医療費を除く）を滞納額に充当することを承認します。

〒 *** - **** 申請者（保護者） 住 所 由布市○○町△△ ××番地

氏 名 由 布 太 郎

（申請者が自署してください）

T E L *** - *** - ****

援助 を 受 け た 理 由	●該当する番号を選び○で囲んでください。（※かつこ内は申請時に添付する書類です）
	1 生活保護法に基づく保護を停止又は廃止された。 停止廃止年月日（ 年 月 日）
	2 市民税が非課税又は減免されている。
	3 個人事業税又は固定資産税が減免されている。 （減免通知書の写し）
	4 国民年金の掛金が減免されている。（1/4免除は除く）（家族全員の減免通知書の写し）
	5 国民健康保険税が減免若しくは徴収猶予されている。（減免通知書の写し）
	6 児童扶養手当を受給している。※児童手当とは異なる 児童扶養手当証書番号（ 号）
	7 生活福祉資金の貸付を受けている。 （生活福祉貸付決定通知書の写し）
	8 保護者が職業安定所登録の日雇労働者である。 （日雇労働費保険者手帳の写し）
	9 生活保護法の適用を受けていないが、それに準ずる生活程度である。
	10 病気災害等の特別な事情により経済的に困窮している。 （必要に応じて参考資料等）
	11 特別支援学級に在籍している。
※9・10に該当する方は、その理由を具体的に書いてください。	
〔 なるべく詳しく記入してください。 〕	

世帯欄1（援助を希望する児童・生徒について記入すること。他校へ通う児童・生徒は世帯欄2に記入すること。）

申請児童・生徒 （同じ学校に通う）	学 校 名		○○ 小・中学校				
	学年 (4.1時点)	フリガナ 氏 名	性別	特別支援学級在籍の有無	フリガナ 名	性別	特別支援学級在籍の有無
	3年	ユフ ハナコ 由布 華子	男 女	☒ 特別支援学級 H ○年 ○月 ○日	特別支援学級に 在籍している場合 チェック	男・女	☐ 特別支援学級 H 年 月 日
				☐ 特別支援学級 年 月 日		男・女	☐ 特別支援学級 H 年 月 日
	令和7年4月1日時点の学年を記入						

世帯欄2（世帯欄1以外で、家族について記入すること。）※住民票が別でも同居している家族全員を記入してください。

その他の家族 （他校へ通う児童・生徒はこちら）	家 族 氏 名	続柄	R7.4.1 年齢	生 年 月 日	勤務先・学年	住 居
	1 由布 太郎	世帯主	40	T.S.H.R ○年 ○月 ○日	○○会社	① 持家
	2 由布 和美	妻	40	T.S.H.R ○年 ○月 ○日	○○会社	2. 賃貸住宅
	3 由布 一郎	長男	13	T.S.H.R ○年 ○月 ○日	○○中学校 1年	3. その他
	4			T.S.H.R 年 月 日		
	5			T.S.H.R 年 月 日		

〔記入上の注意〕

- 小学校と中学校にそれぞれ児童・生徒が在学している場合は別々に提出してください。
- 所得税の住宅等特別控除を受けている場合は申請時に控除額がわかるもの（源泉徴収票等）の提出をお願いします。